

# 対策の方向性

1. 対策の方向性
2. 対策のイメージ

1

## 1. 対策の方向性

### ■ 浸水被害の原因

- ・馬込川流域全体としては、現在の施設規模を上回る降雨であった。
- ・馬込川の水位上昇により田尻排水機場からの強制排水が必要な状態が発生した。
- ・排水機場の排水量を上回る流入量により、高塚川の水位が上昇し、低地部における排水不良や支川への逆流が発生し、湛水や溢水により広範囲で浸水した。
- ・上流部の断面狭小区間等では、早期から溢水による浸水が発生した可能性もある。
- ・湛水防除事業において湛水を許容していた区域にも住宅等が進出したことも被害拡大の要因として考える必要がある。

### ■ 課題の整理

#### 【馬込川】

- ・馬込川において洪水時の水位低減を図る必要がある。
- ・馬込川の適切な維持管理が必要である。

#### 【高塚川】

- ・高塚川の流下能力を向上させる必要がある。
- ・高塚川から馬込川への排水能力を高める必要がある。
- ・流域からの流出を抑制する必要がある。
- ・支川の排水不良への対応が必要である。

#### 【地区全体】

- ・浸水への備え方について検討が必要である。

### ■ 対策の方向性

流域全体でハード対策、ソフト対策を組み合わせ、総合的な浸水被害軽減対策を行う

- ・馬込川における河川整備
- ・馬込川における堆積土砂の浚渫等

- ・現行計画（下水道計画、湛水防除事業計画等）に位置づけた対策の早期実施、必要に応じた計画見直し
- ・高塚川における河川整備
- ・田尻排水機場の機能向上
- ・流域内の貯留施設整備
- ・各支川への逆流防止対策
- ・田尻排水機場等の適切な運用と維持管理

- ・内水域における土地利用のありかたの検討
- ・雨量・水位等の防災情報の提供
- ・警戒避難体制の拡充

## 総合的な浸水被害軽減対策の検討に向け必要な作業

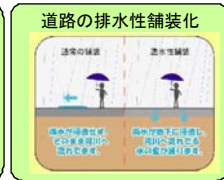
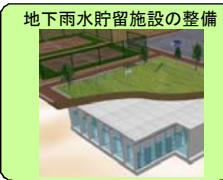
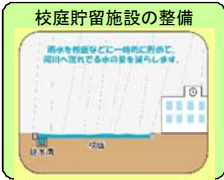
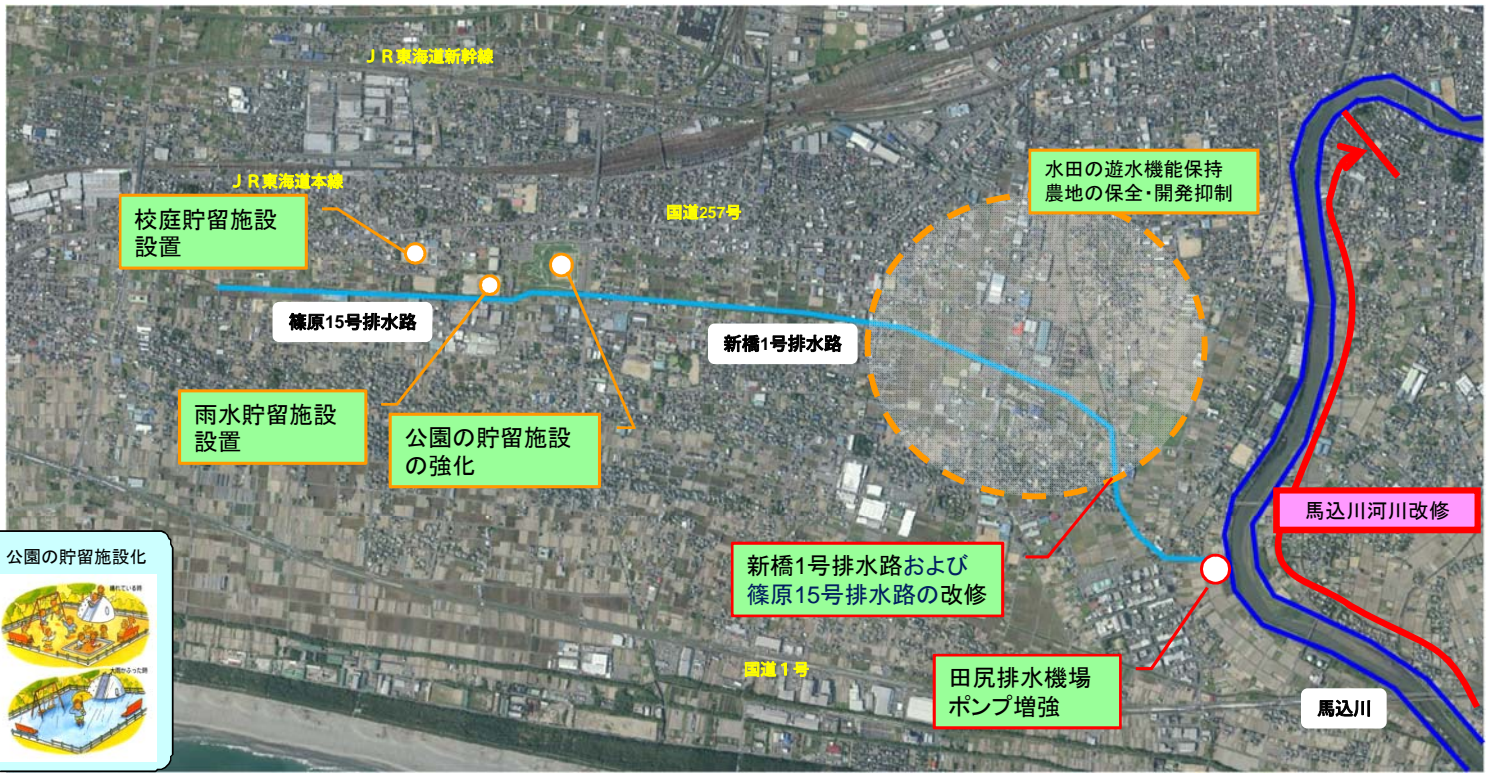
### ■ 高塚川流域における浸水被害軽減対策の目標を設定する。

- ・高塚川流域における湛水防除計画、下水道計画の適応性を確認
- ・高塚川流域における宅地の浸水被害を軽減させるため、目標とする外力（対象洪水）を定め、流域内で許容する湛水位を設定

⇒馬込川の治水計画とも整合を図り、関係部局が連携し高塚川流域における実効性のある対策メニューを設定

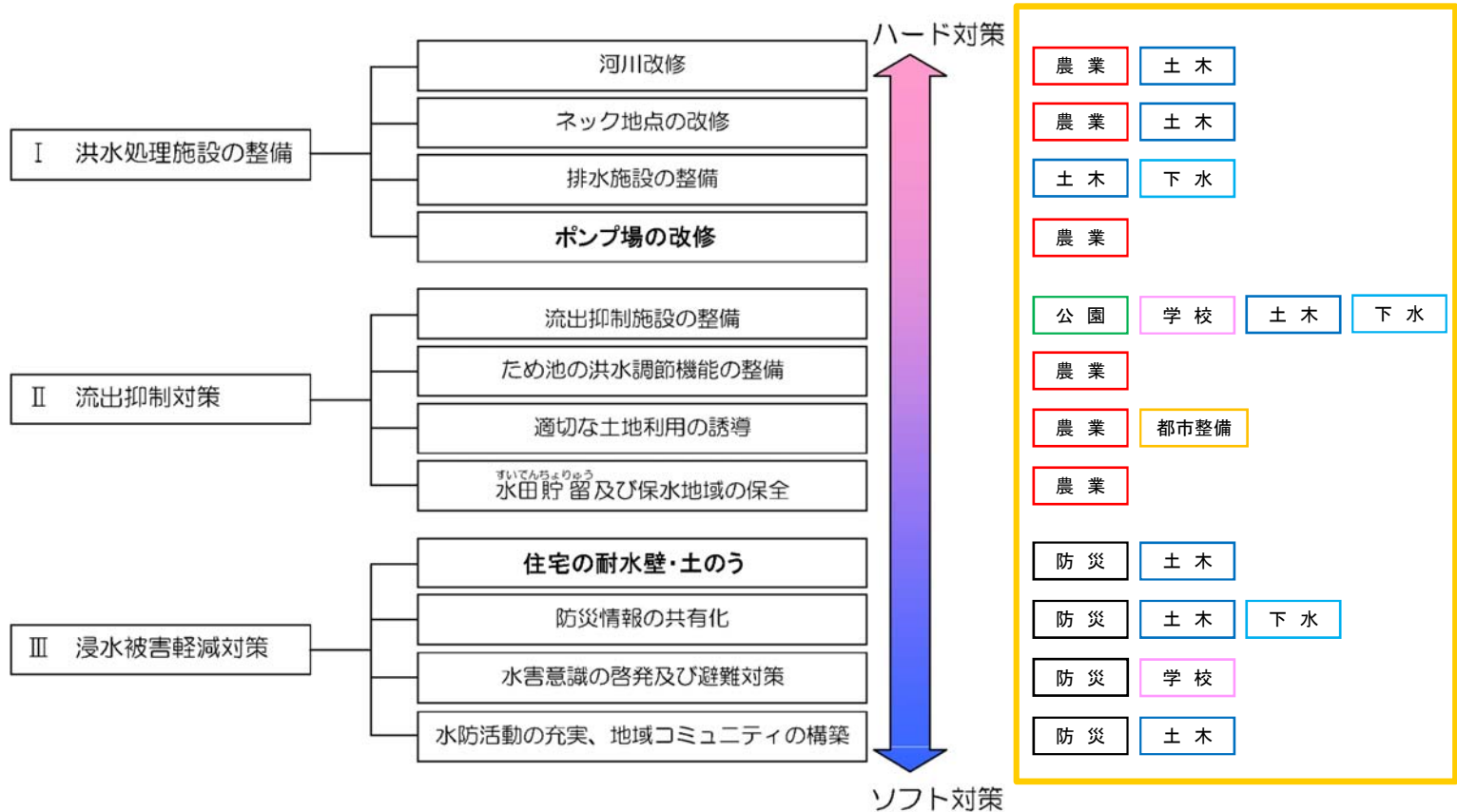
2

## 2. 対策のイメージ



## 2. 対策のイメージ

流域の浸水被害の軽減を目的とし、機関ごとに施策メニューを検討する。



## 2. 対策のイメージ(総合的治水対策(施策メニュー)案)

施策 番号	対策メニュー	実施期間			事業主体	実施内容	行動計画策定に係る 課題・問題	今後の方針
		短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)				
洪水処理施設の整備(ハード対策)								
1	馬込川本川の流下断面拡大	●	●	●	県 浜松土木	河川の断面を拡大し、流下能力を向上させる。		
2	馬込川の河積阻害物撤去 (本ツツ地点の解消)	●			県 浜松土木	河積阻害を浚渫や除草で撤去し、流下能力を向上させる。		
3	新橋1号排水路(高塚川)の流下断面の拡大		●	●	市 農地整備課	流域の幹線排水路の断面を拡大し、流下能力を向上させる。		
4	篠原15号排水路(西部排水路)の流下断面の拡大		●	●	市 西南土地改良区	流域の幹線排水路の断面を拡大し、流下能力を向上させる。		
5	支川排水路の流下断面の拡大		●	●	市 河川課 農地整備課 西南土地改良区	流域の幹線排水路の断面を拡大し、流下能力を向上させる。		
6	排水路の河積阻害物撤去 (本ツツ地点の解消)	●			市 河川課 農地整備課 西南土地改良区	河積阻害を浚渫や除草で撤去し、流下能力を向上させる。		
7	田尻排水機場の改良	●	●	●	市 農地整備課	馬込川合流点の田尻排水機場のポンプ能力を向上させる。		
流出抑制対策(ハード対策)								
1	雨水貯留施設や雨水渠の整備	●	●	●	市 河川課 下水道工事課	雨水貯留施設などを整備し、農業排水路への流出を抑制する。		
2	公園施設の貯留施設の整備	●	●		市 公園管理事務所	貯留施設を整備し、公園内からの雨水の流出を抑制する。		
3	校庭貯留施設の整備	●	●		市 学校施設課	貯留施設を整備し、学校内からの雨水の流出を抑制する。		
4	ため池や水田の保水機能(洪水調整機能)の向上	●	●	●	市 農地整備課	ため池や水田の畦畔を嵩上げすることにより、保水機能を向上させる。		
5	透水性舗装の整備	●	●		市 道路課 公園管理事務所	道路や駐車場を透水性舗装にすることにより、雨水の流出を抑制する。		
6	道路への雨水浸透樹等の設置	●	●	●	市 道路課	道路の集水樹を利用した雨水浸透施設を整備し、排水路への流出を抑制する。		
流出抑制対策(ソフト対策)								
1	田尻排水機場の操作規則の改善	●			市 農地整備課	浸水被害の軽減を図るため、排水機場の操作規則を見直す。		
2	浸水エリアの開発指導	●	●	●	市 土地政策課	土地利用にかかる開発事業者への指導。		
3	適切な土地利用への誘導	●	●	●	市 都市計画課	コンパクトシティの推進等、浸水リスクを考慮したまちづくりの検討。		
浸水被害軽減対策(ソフト対策)								
	防災体制の強化	●			市 危機管理課	災害時に備えてのマニュアルを作成する。		
	防災情報の強化	●			市 河川課	水位計、および水位監視カメラを流域内に設置する。		
	内水ハザードマップの周知・啓発	●			市 下水道工事課	内水ハザードマップを作成し、地元住民へ周知する。		
	水害意識の啓発および避難対策の強化	●	●	●	市 危機管理課	防災出前講座(災害教育)や水害版災害図上訓練などの実施。		
	地域住民による自助や共助への支援	●	●	●	市 河川課 危機管理課	土のうや各戸貯留施設など自助や共助への支援を実施する。		